

第 19 回 放送大学研究発表会

記念講演：「外国語の正しい学び方 —第 2 言語習得研究の知見から—」

講師 放送大学北海道学習センター客員教授 石塚博規氏

北海道教育大学名誉教授

【概要】英語は難しい、不得意だという声をよく耳にします。いくら単語を暗記してもすぐ忘れてしまったり、文法がわからない、さらには、外国人を前にすると何も口から出てこなかったりする経験は誰にでもあると思います。なぜ英語の学習は身につかないのでしょうか。やはり子どものころから英語に触れていなくてはならないのでしょうか。英語と日本語は言語があまりに違い過ぎるのでしょうか。発音は正確な方がいいのでしょうか。



本講演では、外国語の学習は、どのような方法で、どんな教材を使い、いつからどのようなタイミングで行うとよいのかを、第 2 言語習得研究の成果を引用しながら考えていきます。各学習者の立場から、また、子を持つ親の立場から、英語学習について振り返る機会としていただければ幸いです。

プロフィール：

北海道教育大学名誉教授。専門分野は第 2 言語習得研究及び情報科学で、特に、授業観察・分析の方法論の研究と ICT の教育への活用とその成果の研究を中心として行っている。2022 年 10 月放送大学北海道学習センター客員教授就任。

放送大学 研究発表 (以下放送大学大学院令和 5 年 3 月修了者)

- | | | |
|------|--|---------|
| 発表 1 | テーマ「感染症流行の数理モデルについての検証」 | 松田 大徳 氏 |
| 発表 2 | テーマ「銀河中心領域へのガス供給、分子雲形成と進化に関する研究」 | 政川 俊康 氏 |
| 発表 3 | テーマ「小学校における SDGs 達成に向けた ESD の単元デザインの方法
～ESD 実践の日常化を目指して～」 | 塚田 初美 氏 |

日時：2023 年 **10 月 8 日** (日) 受付 12:30 開始 13:00-17:00

会場：放送大学北海道学習センター 6F 大講義室

札幌市北区北 17 条西 8 丁目北大構内(地下鉄北 18 条駅から徒歩 10 分)

主催：第 19 回放送大学研究発表会実行委員会 共催：放送大学北海道学習センター

後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会 参加費：無料、ハイブリッド開催

問い合わせ先：e-mail juukichi1949@gmail.com FAX 011-215-8468 電話 090-2058-4453

記念講演 講師 石塚博規氏 プロフィール

検定教科書 One World English, One World Smiles の著者。最近の主な研究業績は、Providing quantitative data with AI Mobile COLT to support the reflection process in language teaching and pre-service teacher training: a discussion (CALL for widening participation: short papers from EUROCALL 2020) (共著)をはじめ多数。2018年には国際学会 EdMedia2018 で Outstanding Poster Award を受賞。「成功する1人1台端末の授業づくり」(明治図書)や絵本の翻訳書など数多くの著作がある。

放送大学 研究発表 概要

発表1 「感染症流行の数理モデルについての検証」

松田 大徳 氏 (放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻自然環境科学プログラム 修了)

【概要】感染症を予測するための数理モデルは半世紀以上前から考えられている。そして、新型コロナウイルス感染症の流行時には、実際に様々なモデルが感染者数の予測のために使用されてきた。日本においても、これから感染する人数をS、現在発症している人数をI、回復した人数をRとした、有名な感染症の数理モデルであるSIRモデルに、潜伏期間にある人数Eを加えたSEIRモデルが感染症の推測に使われている。

感染症の世界的な流行はこれまでも何回も発生しており、今後も発生する可能性は高いといえる。その際に数理モデルによる感染者数の推測が可能となると、経済活動の維持と感染拡大防止の両立を可能とすることがより容易になると考えられる。

発表2 「銀河中心領域へのガス供給、分子雲形成と進化に関する研究」

政川 俊康 氏 (放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻自然環境科学プログラム 修了)

【概要】我々の銀河の中心から数百pc以内の領域は銀河中心領域と呼ばれている。高密度ガスリング構造などの膨大なガスや活発な星形成が観測されている。銀河中心領域は銀河全体から見れば非常に小さな領域であり、最初から大量のガスが存在していたとは考えにくい。従って、銀河中心領域へのガス供給がどのような物理過程によるものかを解明することは、活発な星形成を理解するためにも重要な研究である。

この物理過程の可能性を確かめるため、銀河中心領域へのガス供給や、分子雲形成および分子雲の進化の可能性を明らかにする重要な結果を得た。今後、分子雲衝突の可能性などをより詳しく解析していく。

発表3 「小学校におけるSDGs達成に向けたESDの単元デザインの方法～ESD実践の日常化を目指して～」

塚田 初美 氏 (放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻人間発達科学プログラム 修了)

【概要】世界には、地球的課題(global issues)と呼ばれる貧困や格差、環境、人権、平和などに関わる諸問題が山積しており、さらに新型コロナウイルスパンデミックやロシアによるウクライナ侵攻といった新たな問題も噴出した。

これらの問題をグローバルな視点で自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身につけるための教育(ESD)の重要性が増してきたといえるが、その推進の鍵を握っている現場の教師のESDの理解は、それほど進んではいなかった。教師の多忙さもその理由の一つであったことから、本研究では、教師の負担を増やすことなく、すべての小学校の教師が日常的にESDの実践ができるようになることを目指し、小学校における教科学習を中心としたESDの単元デザインの方法とその具体的な手立ての解明を試みた。